

## ～「ふるさと伊那谷学」を軸としたキャリア教育の実践より～

伊那市立伊那中学校

川上沙紀

### 1. はじめに

#### キャリア教育の定義

「キャリア教育」という文言が登場した背景には、近年の急激な技術革新に伴う雇用形態の多様化・流動化、またバブル経済の崩壊やリーマンショックといった社会の変化に伴う子どもたちの将来の捉え方の変化があります。将来を考えるのに役立つ大人のモデルが見つけれず、学校から職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増えてきました。また児童生徒の学びの実態として、日本の子どもたちは学力が高い一方でその学びを将来と関連づけられない、また受験が終わるとその知が剥落してしまいがちであることが、国際的な学力検査やアンケートから明らかになってきました。そこで平成 11 年中教審答申の中で、「学校教育と職業生活との接続の改善を図るために小学校段階から発達の段階に応じてキャリア教育を実施する必要がある」と述べられています。

平成二十三年の中教審答申で、キャリア教育は次のように定義されています。

「一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てる事を通して、キャリア発達を促す教育」

この中の「社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力」については「基礎的・汎用的能力」として次の四つの能力を挙げています。

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力

この四つの能力については、それぞれの学校や地域等の実態を踏まえ、学校毎に育成しようとする力の目標を定めることとされています。そこで、伊那中学校では、「ふるさと伊那谷学」と称して、「地域を愛する心・地域を創生する力」を育成することを目的に、キャリア教育を進めています。

### 2. 「地域を知る」活動の紹介

#### (1) 道草の日

道草の日とは、年 2 回計画されている伊那中学校独自の行事です。「いいなぁと思うものを探す」というテーマと「人に迷惑をかけるようなこと、危険なことなどはしない」「中学生として逸脱した行為はしない」「友達の家によって時間をつぶすことは禁止」の3つのルールのもと、生徒が自由に道草を食いながら、ゆっくりと下校することで、地域の知らなかったことを発見することを目的に行いました。

## 生徒の生活記録より

<p>普段とは違う通学路で帰ったら、いつもの景色と違って、伊那はこんな店があるのか〜とか、新たな発見がいっぱいできてよかったです。道草の日は「探求心」「好奇心」などが大事かなと思いました。</p>
<p>初めての道草の日だったので、どうしようかわからなかったけど、〇〇ちゃんの家の方に話しながら行きました。私は通ったことがない道だったので、先輩方が言っていたように「冒険している感覚」でした。次回も楽しみです。</p>
<p>道草の日で、〇〇ちゃんと〇〇ちゃんと春日公園へ行って、マンガを描いた後、奥の方まで散歩しました。ふじの花のある広場があったり、ペンペン草で遊んで、町を見下ろして…とっても楽しかったです。</p>
<p>2時間ほど友達とゆっくり話しながら帰った。普段は部活や塾があって友達とゆっくり話をして道草をする日が全くないので、すごく楽しい時間を過ごせました。</p>
<p>壁から水が出ているところが何か所もあって、とてもきれいな水ですごいなと思いました。いろいろな色の家が建っていました。今まで通ったことのなかった道から知っている道に出たとき「ここか!」と思って面白かったです。(中略)通り街を歩いていると、1階は新しくなっているけど、2階は大正、昭和のまま、という建物がたくさんありました。いろいろな発見があって楽しかったです。</p>
<p>普段車で通る道だったけど、歩くとすごい疲れる。(中略)いつも一緒に帰ったりしていたけど、しっかり話してみると意外なことが知れて楽しかった。</p>

## (2) 上伊那クイズ製作・ASOBINAでの自然体験学習

1年生は、上伊那広域連合の方から上伊那の情報や魅力を説明していただき、ふるさとについて既に知っていることもあれば、まだ知らないこともあると実感しました。そこで、グループごとに上伊那について調べ学習を行い、それをクイズ形式にして発表をしました。また、ASOBINAで自然体験をすることを通して、地域の魅力や地域で働く人の魅力を感じ、ASOBINAのPR動画を製作し発表する活動を通して、自分たちが感じたことが相手に伝わるように情報を発信する大切さを学びました。テレビやゲームでは味わえない、自然に囲まれたふるさとならではの体験ができました。

## 生徒の感想

<p>私は午前中 SUP をやりました。落ちそうで怖かったけど、だんだん慣れてきて立って漕げるようになって楽しかったです。午後はパラグライダーでした。1回目は結構飛んでめっちゃ楽しかったです。1日とても楽しかったし、今日やったことをしっかり振り返って、まとめて、PRをやりたいです。</p>
<p>午前中はパラグライダーをしました。人生初でとても楽しかったです。めっちゃ高くてびっくりしました。午後は陶芸をしました。自分なりの模様が描けたと思うのでよかったです。届くのは2か月後だと言っていたので、完成したお皿を見るのがとても楽しみです。</p>

インストラクターの方が自転車でジャンプしていてすごかった。めっちゃ石があるところでバランスをとるのが難しかった。坂道で急に速くなって顔面から転びそうで怖かった。汗をかいたときに風が気持ちよかった。

発表のアドバイスを聞いたり感想を読んだりして、「作品を実際に持ってきていたので、触ったりできてよかった」と書いてあるのが多かったので、やってよかったと思いました。

PR 動画の製作のときに、少しは意見を言ったりすることができたので、グループに貢献できたと思ううれしかったです。セリフを暗記することは無理で、iPad を見ながらやったけど、時々相手を見ることを意識して、もらったアドバイスを活かしてできたので良かったです。

## 活動のようす



## 2. 「地域と学ぶ」活動の紹介

### (1) 職業体験学習

2年生は、職業体験学習として、上伊那地域の事業所へ5日間の体験に行きました。連続5日間ができない場合は、2つの事業所に行ったり、定休日等で実習ができない場合は、中学校でボランティア活動を行ったりしました。また、体験で学んだことを紹介し合うポスターセッションも行いました。ポスターセッションには、お世話になった事業所の方々や保護者、本校1年生も招待し、感想を書いていただきました。発表することを通して、体験を整理することができ、職業体験学習での学びを深めることができました。

## 生徒の生活記録より

働くのって最初はすごい大変で嫌なものかと思っていたけど、実際に働いてみて、大変なこともあったけど、すごく楽しいって思えたし、楽しいからそんなに嫌ともつらいとも思いませんでした。今は“働く”って大変だけど楽しいものなんじゃないかと思うようになりました。

働くということは、必ず誰かの役に立っていて、それで誰かの役に立ったからお金をもらっていると思いました。これから自分達も仕事をするときが来るけど、誰かのために仕事をしたいと思いました。

(幼稚園での実習を経て)子どもたちは、中学生(自分たち)のことを先生と覚えてくれているんだなと感じました。この体験では本当に楽しかった、うれしかったなど色々な気持ちを5日間で感じられました。本当にありがとうございますという気持ちでいっぱいです。

改めて働く大変さなどがわかりました。そして従業員の方々は最後までしっかりと(仕事を)やることを教えてくれました。感謝感激です。

最初は緊張もしたけど、4日間働いて、緊張もしなくなったし、メンタルも強くなったし、職場の方々や利用者の方々楽しい時間を過ごし、そしてあらためて働く大変さを知りました。

## 活動のようす



## (2)アントレプレナーシップ教育

地域の起業家のみなさん 20 名ほどに集まっていただき、その方々の生き方や考え方に触れ、「今の自分」「これからの自分」を見つめる機会にすることを目的にお話をお聴きしました。多くの大人とふれあうことにより多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じることができました。

### 生徒の感想より

一度きりの人生では、自分は、自分にしかない魅力だったり、自分にしか感じられないようなことばかりだという考え方がとてもすてきだと感じました。

IQ や才能よりも、やり抜く力が大切。初心を忘れずに何事も最後までやり抜きたい。

みんなアクティブで生き生きとしているのを見て、私もそんな風に生活していきたいと思いました。

学校でする勉強は大変だけど、全部自分のため。意味のないことを頑張れない人は意味のあることも頑張れないと教えてもらいました。

自分で起業すると、自由や自分のしたいことができるのが魅力。ただその分、責任も自分に全部来るのが大変だと思いました。

自分のやりたいことを見つけて、実現することができたら成功というわけではない。それを継続することができるのか、それにより多くの人を喜ばせることができるのか、そこが大事だと思いました。

### 活動のようす

